



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
 コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井愉三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 川上康夫 TEL 03 (6432) 9500
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績 (2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	3,656	△2.1	263	△0.6	269	0.4	162	△3.5
2020年9月期第3四半期	3,733	△3.1	264	△23.6	268	△23.4	168	△27.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	50.32	50.25
2020年9月期第3四半期	52.35	52.25

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	2,920	2,271	77.8
2020年9月期	2,938	2,155	73.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 2,271百万円 2020年9月期 2,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2021年9月期	—	0.00	—		
2021年9月期 (予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	4.5	240	△8.7	245	△8.0	150	△13.3	46.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	3,235,000株	2020年9月期	3,225,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	一株	2020年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	3,226,648株	2020年9月期3Q	3,212,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）におけるわが国経済は、2月からワクチン接種が始まったものの、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にありました。

新型コロナウイルス感染症は、消費者行動に大きな影響を与え、業種や業態に明暗が分かれてきており、当社としても今後の状況の推移に細心の注意を払う必要があると考えております。

こうした環境下、当社は、新型コロナウイルス感染症の影響からハロウィン、クリスマス、バレンタインデーにおいて、いわゆる巣ごもりの影響もあり、多くの人々が集うシーンに使われる商品群の需要減少がありました。個人や少人数でも楽しめる商品を中心に、主要顧客である100円ショップ各社に向けてライフスタイル雑貨の新企画や新商品の提案に積極的に取り組みました。また、積極的な原価低減に努めました。

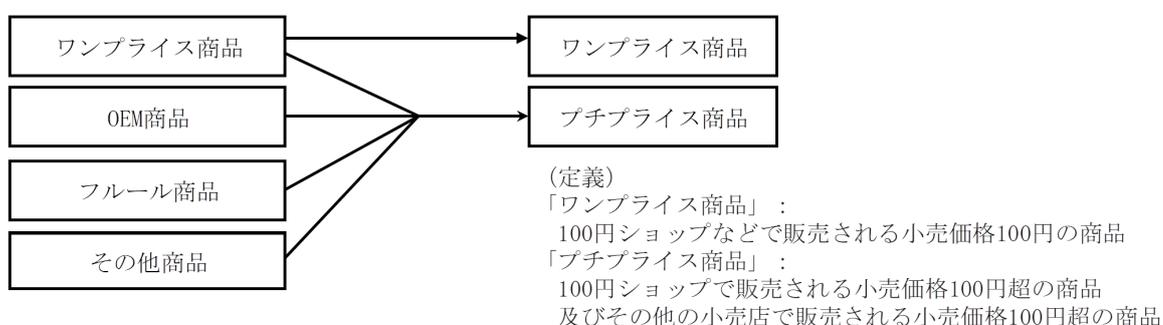
なお、当社は3年間の基本的な経営戦略を毎年見直しており、当期より3年間の重点戦略の一環として、

1. ワンプライス商品（小売価格100円）の更なる強化

2. プチプライス商品（小売価格200円～）の拡大

を目指し、従来の商品分類（セクター）である「ワンプライス商品」、「OEM商品」、「フルール商品」及び「その他商品」を以下の「ワンプライス商品」と「プチプライス商品」の2分類といたしました。

イ. 商品分類の組換内訳



ロ. 前事業年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）商品区分の組換内訳

旧分類	(千円)		新分類	(千円)	
ワンプライス商品	4,473,568	93.5%	ワンプライス商品	4,474,107	93.5%
OEM商品	216,173	4.5%	プチプライス商品	311,007	6.5%
フルール商品	93,481	2.0%			
その他商品	1,891	0.0%			
合計	4,785,114	100.0%	合計	4,785,114	100.0%

ハ. 前事業年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）四半期累計期間別商品区分の組換内訳

	(千円)			
	第1四半期累計期間	第2四半期累計期間	第3四半期累計期間	事業年度計
ワンプライス商品	1,353,000	2,708,282	3,454,626	4,474,107
プチプライス商品	150,060	231,539	278,896	311,007
合計	1,503,061	2,939,822	3,733,523	4,785,114

二. 当第3四半期累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）の商品組換内訳

旧分類	(千円)		新分類	(千円)	
ワンプライス商品	3,378,158	92.4%	ワンプライス商品	3,377,337	92.4%
OEM商品	207,541	5.7%	プチプライス商品	278,796	7.6%
フルール商品	69,717	1.9%	合計	3,656,133	100.0%
その他商品	715	0.0%			
合計	3,656,133	100.0%			

この結果、当第3四半期累計期間における当社のライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、「ワンプライス商品」が、前年同期比77,289千円減少（2.2%減）の3,377,337千円、「プチプライス商品」が、前年同期比100千円減少（0.0%減）の278,796千円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は以下のとおりであります。

	(千円)			
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第3四半期累計期間	3,656,133	263,367	269,516	162,349
前第3四半期累計期間	3,733,523	264,884	268,365	168,171
増減額	△77,389	△1,517	1,151	△5,821
増減率（%）	△2.1	△0.6	0.4	△3.5

売上高は、前年同期比77,389千円減少（2.1%減）の3,656,133千円となりました。

第1四半期はクリスマスを中心にラッピング関連商品の好調により増加しましたが、第2四半期は緊急事態宣言による消費マインドの冷え込みやバレンタインデーが日曜日となった影響によりバレンタインデー関連商品の減少等から第2四半期累計期間では減少となり、当第3四半期は文具、企画シリーズが好調であったものの、第2四半期累計期間の減少をカバーできなかったと分析しています。

営業利益は、前年同期比1,517千円減少（0.6%減）の263,367千円となりました。

これは売上高の減少、販管費の増加があったものの、原価低減努力の成果があり、若干の減少となったものです。

経常利益は、前年同期比1,151千円増加（0.4%増）の269,516千円となりました。

これは、営業外損益において、前第3四半期には営業外収益に為替差益2,118千円、受取和解金1,200千円がありました。当第3四半期には、営業外費用に為替差損2,744千円があったものの、営業外収益において新型コロナウイルス感染症対策に対する助成金収入2,945千円、匿名組合投資利益5,914千円があったこと等から営業利益は若干の減益となりましたが、経常利益が増益となったものです。

しかしながら、四半期純利益は、見積実効税率の上昇もあり、前年同期比5,821千円減少（3.5%減）の162,349千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,721,818千円となり、前事業年度末に比べ31,970千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が255,819千円増加した一方、受取手形及び売掛金が85,551千円、たな卸資産が223,919千円減少したことによるものであります。固定資産は198,439千円となり、前事業年度末に比べ13,228千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が6,771千円、投資その他の資産が10,596千円増加した一方、無形固定資産が4,139千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,920,257千円となり、前事業年度末に比べ18,741千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は335,137千円となり、前事業年度末に比べ88,476千円減少いたしました。これは主に買掛金が7,547千円、未払法人税が30,868千円増加した一方、未払金が102,013千円、賞与引当金が27,528千円減少したことによるものであります。固定負債は313,280千円となり、前事業年度末に比べ46,699千円減少いたしました。これは主に長期借入金52,500千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、648,418千円となり、前事業年度末に比べ135,176千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,271,839千円となり、前事業年度末に比べ116,434千円増加いたしました。これは主に四半期純利益が162,349千円、配当金の支払いが61,275千円、繰延ヘッジ損益の増加が12,218千円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて4.5ポイント増加し、77.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大は、ワクチン接種の開始、進捗はあるものの、依然感染者数の増加が懸念され、4回目の緊急事態宣言の発令もあり、今後の進展が見通せない状況となっており、事業活動に影響するリスクがあります。

そのため7月以降において、当事業年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）の業績、財務状況に影響が発生する可能性があります。現時点では新型コロナウイルス感染症の影響が、業績、財務に与える具体的な影響額を算定することが困難であります。当社は「Withコロナ」の生活様式にマッチした商品群への再構築を行っていますが、当事業年度における効果がまだ見極めがたいこともあり、当事業年度の業績予想を据え置くこととし、2021年5月14日の公表値としております。

なお、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,332,039	1,587,858
受取手形及び売掛金	393,531	307,979
電子記録債権	1,699	3,313
たな卸資産	986,360	762,440
その他	40,406	60,638
貸倒引当金	△247	△412
流動資産合計	2,753,788	2,721,818
固定資産		
有形固定資産	57,031	63,802
無形固定資産	52,249	48,110
投資その他の資産	75,929	86,525
固定資産合計	185,210	198,439
資産合計	2,938,999	2,920,257
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,504	31,051
1年内返済予定の長期借入金	70,000	70,000
未払金	239,565	137,551
未払法人税等	32,084	62,952
賞与引当金	27,528	-
その他	30,932	33,581
流動負債合計	423,614	335,137
固定負債		
長期借入金	87,500	35,000
退職給付引当金	18,145	23,945
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	359,980	313,280
負債合計	783,594	648,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,525	37,220
資本剰余金	271,773	273,468
利益剰余金	1,849,603	1,950,678
株主資本合計	2,156,902	2,261,367
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,472	2,223
繰延ヘッジ損益	△3,969	8,248
評価・換算差額等合計	△1,497	10,471
純資産合計	2,155,404	2,271,839
負債純資産合計	2,938,999	2,920,257

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,733,523	3,656,133
売上原価	2,099,569	2,004,130
売上総利益	1,633,953	1,652,003
販売費及び一般管理費	1,369,068	1,388,635
営業利益	264,884	263,367
営業外収益		
受取利息	111	3
受取配当金	61	65
為替差益	2,118	-
匿名組合投資利益	-	5,914
固定資産売却益	999	-
受取和解金	1,200	-
助成金収入	-	2,945
その他	598	706
営業外収益合計	5,090	9,634
営業外費用		
支払利息	951	740
為替差損	-	2,744
匿名組合投資損失	658	-
その他	-	0
営業外費用合計	1,609	3,485
経常利益	268,365	269,516
税引前四半期純利益	268,365	269,516
法人税等	100,193	107,167
四半期純利益	168,171	162,349

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載のとおりであります。会計上の見積りの仮定については、当第3四半期累計期間において重要な見直しは行っておりません。